

第15回 静岡県景観賞

令和4年度受賞地区



美しいしずおか景観推進協議会

ごあいさつ

「美しいしずおか景観推進協議会」は、県民共通の資産である県土の景観に関する啓発活動を行い、しずおかの美しさを守り・育て・創ることを目的として創設し、昭和 63 年度に「静岡県都市景観賞」を設け、優れた都市景観を創出している地区等を表彰してまいりました。平成 20 年度には賞の名称を「静岡県景観賞」に改め、田園や農山漁村などにも表彰対象を拡大して実施しており、今回は 15 回目、通算 35 回目となります。

本年度は 23 件の御応募をいただき、審査の結果、「静岡第一テレビ新社屋」を最優秀賞に選定しました。

この「静岡第一テレビ新社屋」では、緑地・樹木を活かしたランドスケープと新社屋建築の調和が美しく、周辺環境の改善により安全な歩道空間や地域住民と共有できる緑を提供し、素晴らしい景観を創出しました。

優秀賞には、井上靖の小説「しろばんば」に登場する「上の家^{かみ}」を、産官学の連携により当時の情景を残し丁寧に保存・改修した「湯ヶ島地域交流拠点整備（上の家）」、下田旧町内の歴史的遺産や自然景観を活かし回遊

散策景観を創出した「大工町プレイス・弁天橋ボードウォーク」、「竹あかり」を活用し松川周辺地区に夜間景観という新たな魅力を創出させた「松川周辺地区の和の明かり」の 3 地区を選定しました。

受賞地区の皆様に対し、心からお祝い申し上げますとともに、景観について、より多くの県民の皆様が関心を持っていただく契機となれば幸いです。

今後とも、住む人々が誇りと愛着を持ち、訪れる人々が魅力を感じ、世界から憧れを呼ぶ美しい“ふじのくに”を目指して、美しいしずおか景観推進協議会の会員一同、積極的に取り組んでまいります。

令和 5 年 1 月 美しいしずおか景観推進協議会会長
静岡県交通基盤部長 太田 博文

これまでの 静岡県景観賞

最優秀賞受賞地区



第1回 2008年 静岡市葵区
わさびとお茶の里
「有東木」



第2回 2009年 御殿場市
森の中の環境共生型まちづくり
「矢崎総業 Y-TOWN 御殿場」



第3回 2010年 掛川市～湖西市
天浜線のある風景
(文化資源を際立たせる自然・産業景観)



第4回 2011年 三島市
三島市景観重要樹木
「文教町イチョウ並木」



第5回 2012年 静岡市清水区
新東名とみかんの里
「原・新丹谷(はら・あらたにや)」



第6回 2013年 静岡市清水区
世界遺産富士山を望む風景美術館
「日本平ホテル」



第7回 2014年 三島市
大社の杜 みしま



第8回 2015年 静岡市駿河区
静岡県草薙総合運動体育館
「このはなアリーナ」



第9回 2016年 磐田市
豊岡中央交流センター



第10回 2017年 三島市
ガーデンシティみしまのシンボルロード
「花飾り」と「袖看板」



第11回 2018年 伊豆市
地域で継承！八岳地区の
「わさびの郷」づくり



第12回 2019年 袋井市
旧東海道 久努の松並木



第13回 2020年 掛川市
伝統農法が織りなす茶草場テラス
から望む東山大茶園



第14回 2021年 伊東市
小室山リッジウォーク
“MISORA”



最優秀賞 静岡県知事賞

静岡第一テレビ新社屋 (静岡市駿河区)

受賞者	株式会社 静岡第一テレビ
	株式会社 大林組 設計本部
	株式会社 山下PMC
	有限会社 アースケイブ



アクセス 静鉄バス「見瀬 Daiichi-TV 入口」すぐ
所在地 静岡市駿河区中原 563



「静岡第一テレビ新社屋」は、静岡駅から南に約 2 kmの準工業地域に位置するTV局の建替計画で、令和4年に完成しました。

地域に根差した新社屋の姿を目指すべく『森の中のメディアステーション』を共通コンセプトに、森 / ブリッジからのひとつながりのガラスと、TV局の象徴でもある鉄塔が周辺地域のランドマークとなるよう計画しました。

元々、既存敷地の東側は「赤道」と呼ばれる道路により分断され、一体的な敷地利用が困難でした。そこで、行政との協議と手続きを経て赤道部分を敷地内に取り込むことで、前面道路である大浜街道の歩道の拡幅と、北東角五差路の見直し改善を図り、周辺環境の改

善にも寄与しました。この部分には既存樹木を可能な限り保存し、樹木ボリュームが森としての印象を形作るよう計画しています。

さらに、大浜街道沿いは一般の方々が通行できるよう敷地の一部も歩道空間として提供し、周辺環境改善に尽力しました。この歩道空間には並行してせせらぎをランドスケープデザインとして計画しています。安倍川を模したこのせせらぎは、既存井戸の湧水を水源として利用している他、元々の暗渠を可視化させつつ、心象としてのセキュリティラインとしても機能させています。

周辺環境の改善と住宅街に立地する特徴を活かした、まさに『森の中のメディアステーション』にふさわしい新社屋を、チーム全員が同じベクトルを向きながら具現化していきました。

審査委員より

「森の中のメディアステーション」というコンセプトを、敷地を越えて外部に浸潤させ、緑地・樹木を活かしたランドスケープと新社屋建築のスケールが心地よく、美しい景観を形成しています。

以前は分断されていた敷地を一体化して周辺環境を改善するとともに、安全な歩道空間や可視化されたせせらぎなど、地域住民と共有できる緑地景観を創出しました。



優秀賞 静岡県建築士事務所協会賞

湯ヶ島地域交流拠点整備（^{かみ}上の家）（伊豆市）

受賞者 伊豆市観光協会天城支部
工学院大学建築学部 意匠・材料研究室グループ
株式会社 イズケン
伊豆市



アクセス 伊豆縦貫自動車道天城北道路「月ヶ瀬IC」から車で約10分
所在地 伊豆市湯ヶ島地内



伊豆市湯ヶ島は、文豪・井上靖が少年時代を過ごした地域であり、自伝的小説「しろばんば」の舞台となった建物や当時の情景が残る場所が現存しています。

その一つに、井上靖の母の実家である「上の家」と呼ばれる蔵造りの建物があります。

建築後約150年が経過した「上の家」は老朽化が進み、景観を損ねる箇所が目立ち、また、耐震面でも脆弱なため地域でこの建物を保存改修することになりました。

改修については、耐震性の確保のほか、明治期に建築された部分は現状を保存すべきとの観点から最低限にとどめ、増築部分については、活用しやすいように「リノベーション」とともに明治期の趣を感じることができるように配慮しました。

増築部分については、「工学院大学建築学部」の学生や地元業者を中心に学生の創造性と大学の持つ専門性及び施工業者の持つ技術を活用するため、「産学官連携」により改修を行いました。改修資金については国、市の補助金のほかにクラウドファンディングにより募り、多くの支援金が寄せられました。

審査委員より

文豪・井上靖氏の幼少期に由来する築150年経過の「上の家」の保存改修を、クラウドファンディングを活用し、地域住民、行政、大学、事業者が共同し、それぞれの強みを活かして完成させ、地域の交流拠点として整備しました。

「しろばんば」が生まれた地域性を資源と捉え、まちづくりへと顕在化させており、地元愛に裏打ちされた湯ヶ島ならではの取り組みです。

当時の情景を感じさせる丁寧な保存改修、外壁、内壁、暖簾などの改修における材料や技術へのこだわりは、うべだけではない本物の景観形成に繋がっています。



優秀賞 日本造園建設業協会静岡県支部賞

大工町プレイス・弁天橋ボードウォーク (下田市)

受賞者 下田市



アクセス 伊豆急下田駅から徒歩約 10 分
所在地 下田市三丁目 6-30、6-21 ~ 26 先



大工町プレイス・弁天橋ボードウォークが位置する下田旧町内は、なまこ壁や伊豆石を使用した歴史的建造物が点在し、また、国指定史跡「了仙寺」や「ペリーロード」があり、多くの人が訪れる場所です。

下田市では、この2つのポケットパークを令和元年度に都市公園として整備し、令和2年4月から供用を開始しました。供用開始後、公園利用の促進を図るため、大学や民間企業との連携による社会実験を実施してきました。

大工町プレイスは、元々空き家を解体してできた空き地に新設したポケットパークで、隣接する歴史的建造物の壁面にあるレトロな看板を活かし、また前面道路の美装化と併せて一体的な整備

をしました。園内には、照明や電源を整備したステージを設置し、多様な活用が可能となる仕様となっています。

弁天橋ボードウォークは、近接する「ペリーロード」からの人流を旧町内に向けてることを目的に計画し、借景となる自然景観を活かすように設計しました。また、園内にはヤシやハイビスカスなどを植栽し、南国風な空間を創出しました。

審査委員より

2つのポケットパーク整備は、近接するペリーロードと連結することで、より情緒ある下田らしい回遊散策景観の創出に成功しています。

大工町プレイスでは歴史的資産が、弁天橋ボードウォークでは南国らしい植栽計画が、魅力的な景観形成に役立っています。

既成のまちの要素や資源を細かな視点のもとに粒立たせ、小規模でありながら街に華をもたらし、このエリアの魅力を相乗的に高めています。



優秀賞 静岡県建設業協会賞

松川周辺地区の和の明かり (伊東市)

受賞者 伊東市
伊東温泉さんやれ祭り実行委員会
松川周辺地区まちづくり推進協議会



アクセス JR 伊東駅から徒歩約5分
所在地 伊東市松川周辺



松川周辺地区は、松川越しに伊東温泉観光文化施設「東海館」を臨むことができる松川遊歩道など、古き良き湯の街情緒を楽しみながら散策することができる人気のエリアです。

松川遊歩道には、竹でできた灯籠「竹あかり」が設置されています。竹あかりは、東海館の明かりと共に幻想的な空間を演出している「浪漫エリア」、松川のせせらぎと竹あかりの優しい光に包まれる「幽光エリア」、源頼朝のロマンスの舞台となった音無神社内の「神秘エリア」からなり、毎日松川沿いを華麗に灯しています。

「伊東温泉さんやれ祭り」は、湯川鹿島神社と松原八幡神社の例大祭と一緒に行われ、伊東に伝わる古来の伝統継承と発展を図るた

め、20台以上の山車が松川周辺地区に一同に会します。山車には、それぞれ異なる彫刻が施され、笛や太鼓の音色と共に提燈の明かりが松川周辺地区を包みます。

松川周辺地区の活性化を目標に活動している地域団体の松川周辺地区まちづくり推進協議会（愛称松まち会）は、春と秋に「松川おそうじ大合戦」を主催し、「伊東歴史文化看板」の設置、「電線地中化事業」や「くらしのみちゾーン事業」といった官民共同の公共事業に携わる等、「松川周辺地区の和の明かり」の環境づくりに貢献しています。

審査委員より

松川遊歩道約700mに渡り、荒廃竹林の竹などを利用した約400本の竹あかりが、年間を通して美しい夜景景観を創出している様は素晴らしく、その活動が旅館やホテルがある近隣商店街へ波及しています。

行政と地域が一体となった祭りや松川の清掃等、地域の活性化に向けた熱意が感じられます。

既に歴史的、地形的魅力が十分にある松川周辺地区を、「夜」「明かり」「ほとり」といった要素で括り直し、新たな魅力に更新させました。

審査の様子



静岡第一テレビ新社屋

湯ヶ島地域交流拠点整備 ^{かみ}（上の家）



大工町プレイス・弁天橋ボードウォーク

松川周辺地区の和の明かり

募集・審査について

募集対象

(1)、(2) のいずれにも該当するもの

(1) 良好な景観

都市、歴史文化、田園、農山漁村等において、良好な景観が形成されている地区又は施設

(2) 活動

住民団体、特定非営利活動法人、企業、学校、自治体等が主体となって良好な景観の形成や保全に寄与しているもの（建造物や眺望点の形成等を含む）

応募件数

(1) 募集期間 令和4年5月31日から7月20日まで

(2) 応募件数 23件

審査日程

(1) 書類審査（8月18日）

5地区を現地審査対象地区として選出

(2) 現地審査（10月13日、20日）

5地区の現地視察を実施

(3) 最終審査（10月20日）

最優秀賞1地区、優秀賞3地区を決定



審査委員

委員長	川口 宗敏	静岡文化芸術大学名誉教授
特別委員	金田 享子	アトリエ景（株）代表取締役 / （公社）日本サインデザイン協会常任理事
〃	齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院教授
〃	西森 陸雄	工学院大学建築学部建築デザイン学科教授
一般委員	鳥居 久保	一般社団法人静岡県建築士事務所協会理事（副会長）
〃	鈴木 純哉	公益社団法人静岡県建築士会副会長
〃	内山 晴芳	一般社団法人日本造園建設業協会静岡県支部支部長
〃	杉保 聡正	一般社団法人静岡県建設業協会専務理事
〃	藤田 祐司	公益社団法人静岡県造園緑化協会専務理事兼事務局長
〃	西島 潔	公益社団法人静岡県山林協会専務理事兼事務局長
〃	松尾 憲宏	公益社団法人静岡県屋外広告協会会員
〃	絹村 敏美	静岡県土地改良事業団体連合会専務理事
〃	市川 晃	静岡県道路利用者会議事務局長
〃	外木 崇之	静岡県土地地区画整理組合連合会幹事
〃	望月 嘉徳	静岡県河川協会常任理事
〃	青木 利憲	静岡県交通基盤部都市局技監



書類審査



最終審査

※敬称略 特別委員は委員長を除き五十音順

静岡県景観賞 公式Instagram

- 静岡県景観賞受賞地区をはじめ、静岡の美しい景観をご紹介します！
- フォロワー様の写真をリポスト投稿しています！

あなたのオススメ景観を大募集！リポスト投稿します

- ①静岡県景観賞公式Instagramをフォロー
- ②#静岡県景観賞 #shizuoka_landscapeのハッシュタグをつけて投稿
- ③投稿の中で、撮影地を記載



静岡県景観賞ホームページ

- 過去の景観賞受賞地区が確認できます！
- 静岡県景観賞応募要領をご案内しています



<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-530b/index.html>

美しいずおかの景観
お届けします！！



過去受賞地区パンフレット



未来の景観を考える



一般社団法人 静岡県建築士事務所協会
Shizuoka Association of Architectural Firms

URL <http://www.shijikyo.or.jp>

美しい景観を目指して



Shizuoka Association of Architects & Building Engineers
公益社団法人 静岡県建築士会

URL <http://shizu-shikai.com>

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と
美しい景観の創造をめざして



一般社団法人
日本造園建設業協会 静岡県支部

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号静岡県庁西館9階
TEL 054-271-9348 FAX 054-251-9205
E-mail shizuoka@jalc.or.jp
URL <http://www.shizuoka-jalc.org/>

～ 地域を守り 未来を創る ～



創造と信頼の
一般社団法人 静岡県建設業協会

会長 石井源一

副会長 市川 照 副会長 長谷川智彦
副会長 河津市元 専務理事 杉保聡正

〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町11-7
大樹生命静岡駅前ビル12階
TEL 054-255-0234 FAX 054-255-5590

主催・発行 **美しいしずおか景観推進協議会**

正 会 員 静岡県
 一般社団法人静岡県建築士事務所協会
 公益社団法人静岡県建築士会
 一般社団法人日本造園建設業協会静岡県支部
 一般社団法人静岡県建設業協会

協 力 会 員 公益社団法人静岡県造園緑化協会
 公益社団法人静岡県山林協会
 公益社団法人静岡県屋外広告協会
 静岡県土地改良事業団連合会
 静岡県道路利用者会議
 静岡県土地区画整理組合連合会
 静岡県河川協会

事 務 局 静岡県交通基盤部都市局
 景観まちづくり課
電 話 番 号 054-221-3702
E - m a i l keikan@pref.shizuoka.lg.jp



Instagram



ホームページ